

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市緑区橋本2丁目計画 新築工事	階数	地上29F
建設地	神奈川県相模原市緑区橋本二丁目336番1外	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	1,832 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2023年6月27日
敷地面積	8,925 m ²	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	2,104 m ²	確認日	2023年6月27日
延床面積	42,524 m ²	確認者	長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画とした。		その他 特になし
Q1 室内環境 二重壁によりD _r 値50を目標値として設定した。 F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用した。	Q2 サービス性能 住居部分の天井高2.5m以上とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラス、LED照明を採用した。	LR2 資源・マテリアル 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。	LR3 敷地外環境 ごみ置き場を敷地内に設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される